

レポート 297

目指すは全国大会。
気持ちも体も前しか見ていません。



鈴木悠斗さん

勿来工業高校ラグビー部主将。3月25日に埼玉県で開催した「第23回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会」に出場した。

Q 選抜大会に選ばれたときの気持ちを教えてください。

驚くと同時に全国の強豪校に通用するの、と不安に襲われました。でも、その気持ちは一瞬で吹き飛び「覚悟を決めて力を磨くしかない」と切り替えることができました。僕たちのチームは全員ポテンシャルが高く、フィジカルもメンタルもタフで、とても良いメンバーがそろっています。みんな前向きに大会に臨もうという気持ちでした。

Q 大会まではどのような練習をしたのですか。

大会までの約三週間のうち、一週間はコロナの影響で練習ができず、個人トレーニングを重ねました。残りの期間には、市内の高校ラグビー部との合同練習が行われ、実戦



他校との合同練習でチームの連携力を強化

形式の練習をしました。僕たちのチームの課題を洗い出すことができる貴重な時間でした。

個人のフィジカルの強化も大切ですが、ラグビーは団体競技なので、チームとしての連携力がトライにつながります。練習期間は短くなってしまうましたが、部員みんな練習できたことや他校との合同練習でエールをもらえたことなど、いわき全体で応援してもらっていると感じられてうれしかったです。

Q ささまざまな課題を前向きに乗り越えた大会はいかがでしたか。

初めての全国大会で、会場入りから緊張してしまいました。僕を含めて部員全員が全国大会という空気に圧倒されました。



選抜大会でチームの士気を高める鈴木主将

試合は強豪校との対戦で、僕たちの本来の力を出し切れず、悔しい思いもありましたが、試合後は「俺たちも動けたよな」「次はこう動こう」などの言葉が多く出てきて、悲しい気持ちより、前を向こうという気持ちが大きかったです。

Q 今後の目標などがあれば教えてください。

全国大会に参加できたことは、僕たちにとって大きな成長につながりました。今後、七人制ラグビーや花園予選が控えています。僕たちの目には全国大会が見えています。そこに向けて個人の体力作りはもちろん、コミュニケーションを密に取り、チームとして通用する力を身に付けていきたいです。

写真が語る「いわき」の歴史



鉄道から道路へ、トンネル活用

小名浜港漁港区の前を通る臨港道路は、その東側の三崎公園丘陵地を、並行した二本のトンネルで抜けます。外見上珍しい形のトンネルですが、トンネルの上が小名浜港ヶ丘の住宅団地となっているため、安全に十分配慮



「港トンネル」左側が旧江名鉄道。東日本大震災の大地震にも被害はなかった。〔平成23（2011）年3月12日 小磯國雄氏撮影〕

風景や街の様子、人々の暮らしなどを撮った数多くの写真から、いわきの多彩な歴史・文化・移り変わりなどをひもときます。

し、工事による地盤沈下を最少限に抑えるメガネ型の「ナトム工法」が採用されました。

このとき廃止となっていた江名鉄道の「小名浜第一トンネル」が、新しい道路トンネル「港トンネル」となりました。

もっともここだけでなく、小名川に架かる磐城新橋から旧小名浜市場前を経て、港トンネル、下神白、永崎、江名の安竜団地の下までの道路は、全て廃止となった江名鉄道敷地を利用したものでした。

永崎海岸には東日本大震災後、津波の状況とともに江名鉄道があったことを後世に伝える表示板が立っています。（いわき地域学舎 小宅幸一）



江名鉄道「三崎第一トンネル」と「栄町第5踏切」〔昭和28（1953）年〕

※いわき市内の昔の写真をお持ちで提供いただける方は、広報広聴課（☎22-7402）へご連絡ください。

市長です こんにちは⑤

医師不足の解消に向けて！

いわき市長 内田 広之



長年、いわき市では、医師不足が指摘されています。

しかし、いわきの医療界はすごいんです！市医師会や市病院協議会という組織を通じた医師間のネットワークが強く、コロナ禍でも助け合い、日々、重症者の治療やワクチン接種を連携の強さで乗り越えてきました。厚生労働省の知人は「こうした医師たちのネットワークは他にはない」と語っています。

市民の皆さんからは、救急搬送に時間がかかる、難病患者が他地域に通院しているという声を聞きます。医師が足りなさだということは理解できます。しかし、具体的に何人足りず、どの診療科がどれほど深刻なのかという「見える化」が不十分です。

そこで「いわき市医療構想会議」を立ち上げました。多くの医師に参画いただき、診療科ごとの課題や必要医師数など、より詳しく調査し、計画的に医師を確保するための取り組みを進めています。さらに、医師を目指す中高生が、医師から貴重な講話を聞いたり、医療現場を見たりする取り組みや、医学部合格者へのガイダンスも進めています。将来、いわきの医療を支えてもらいたいからです。

あらゆる手だてを講じ、医師不足の解消に取り組めます！